

Ⅶ 侵入警戒種リスト 種の解説

分類	防除対象	種名等	ハチ目アリ科 アルゼンチンアリ
		原産地	南米
		選定理由	在来種との競合や住居等への侵入による不快害虫、農業被害への懸念がある。
		生態的特徴	多数の働きアリからなる大規模なコロニーをつくる。小型動物の捕食やアブラムシ類、カイガラムシ類を保護する。
		生息環境	5～35℃で活動できる。
		侵入経緯	建築資材などに紛れて侵入している可能性がある。
		影響・被害	在来種との競合や不快害虫、農業被害。
		防除方法等	アリ駆除剤の散布
特記事項	特定外来生物		
分類	防除対象	種名等	ハチ目アリ科 アカカミアリ
		原産地	北米～中米
		選定理由	在来種との競合や農業被害、人的被害(刺傷・咬傷)への懸念がある。
		生態的特徴	塚をつくり、雑食性でカイガラムシ類を保護する。
		生息環境	亜熱帯地域の裸地、開けた草地の地中に営巣する。
		侵入経緯	米軍の物資などに紛れて侵入している可能性がある。
		影響・被害	在来種との競合や農業被害、人的被害(刺傷・咬傷)。
		防除方法等	アリ駆除剤の散布
特記事項	特定外来生物		
分類	防除対象	種名等	ハチ目アリ科 ヒアリ
		原産地	南米
		選定理由	在来種との競合や人的被害(刺傷・咬傷)への懸念がある。
		生態的特徴	地下にコロニーをつくり、春から晩秋まで繁殖可能。
		生息環境	草地などの開けた環境。
		侵入経緯	貨物コンテナなどに混入して移入。
		影響・被害	在来種との競合や人的被害(刺傷・咬傷)。
		防除方法等	殺虫剤
特記事項	特定外来生物		
分類	防除対象	種名等	ハチ目スズメバチ科 ツマアカスズメバチ
		原産地	東南アジア
		選定理由	ミツバチを捕食するため、養蜂業に被害がある。在来スズメバチ類と競合している。在来昆虫類の捕食による送粉系サービスへの被害が懸念される。
		生態的特徴	昆虫類、特にハエ類やミツバチ類、トンボ類を捕食する。巣に近づくと攻撃的になり、毒針で刺し執拗に追跡する。
		生息環境	田園地域。都市にも生息域を拡大している。
		侵入経緯	不明
		影響・被害	養蜂業への被害、在来種との競合、人的被害(刺傷)
		防除方法等	殺虫剤、巣の撤去
特記事項	特定外来生物		
分類	防除対象	種名等	コウチュウ目カミキリ科 クロジャコウカミキリ(クビアカツヤカミキリ)
		原産地	中国、モンゴル、朝鮮半島、台湾、ベトナム
		選定理由	サクラ、モモ、ウメ、カキ、ポプラに寄生し、枯死させる懸念がある。
		生態的特徴	幼虫が樹木の辺材や心材内部で2～3年過ごし、成虫は6月頃脱出し2週間程度の寿命。
		生息環境	公園、市街地の街路樹、果樹園
		侵入経緯	貨物の木製梱包材に付随して移入
		影響・被害	サクラ、モモ、ウメ、カキ、ポプラの枯死
		防除方法等	宿主の伐採、成虫への薬剤散布
特記事項	特定外来生物		
分類	防除対象	種名等	コイ目ドジョウ科 カラドジョウ
		原産地	中国、朝鮮半島
		選定理由	在来種との競合や交雑による遺伝的攪乱が懸念される。
		生態的特徴	流れのない泥底の環境を好み、雑食性
		生息環境	水田、ため池やそれにつながる用水路
		侵入経緯	食用種として輸入されたドジョウ類に混入して移入。漁協による放流等により各地で繁殖。
		影響・被害	在来種との競合や交雑による遺伝的攪乱
		防除方法等	—
特記事項	旧要注意外来生物種		

分類	防除対象	種名等	中腹足目ミズツボ科 コモチカワツボ
その他の無脊椎動物	—	原産地	ニュージーランド
		選定理由	在来種との競合の懸念がある。
		生態的特徴	淡水生の巻貝で雌雄異体だが、単為生殖を行うことで高い繁殖力を有する。塩分耐性が高い。
		生息環境	砂礫を好み、湧水などの冷水環境でも見られる。
		侵入経緯	輸入のマス、ウナギに混ざり移入された可能性あり、1990年に三重県で最初の報告あり。
		影響・被害	在来種との競合
		防除方法等 特記事項	既侵入水域からの水生生物の移入を行わない。 —

分類	防除対象	種名等	新腹足目オリレヨフバイ科 カラムシロ
その他の無脊椎動物	—	原産地	中国
		選定理由	在来種との競合の懸念がある。
		生態的特徴	干潟の巻貝で腐肉食
		生息環境	砂～泥質の干潟
		侵入経緯	アゲマキ等の輸入に混ざり移入したと考えられる。
		影響・被害	在来種との競合、漁業対象種の食害
		防除方法等 特記事項	— —

分類	防除対象	種名等	吸殻目タマガイ科 サキグロタマツメタ
その他の無脊椎動物	—	原産地	東アジア
		選定理由	在来種との競合への懸念がある。
		生態的特徴	汽水域の巻貝で肉食性で二枚貝に付着して殻を開けて中の肉を食べる。
		生息環境	干潟や15mまでの泥底
		侵入経緯	輸入アサリに混入して移入したと考えられる。
		影響・被害	アサリの食害など、在来種との競合
		防除方法等 特記事項	— —

分類	防除対象	種名等	イガイ目イガイ科 カワヒバリガイ
その他の無脊椎動物	—	原産地	中国
		選定理由	吸虫類の第一宿主になり、在来魚への影響の懸念がある。
		生態的特徴	淡水生の二枚貝で水中の暗い場所を好み、導水管などに大量に繁殖することもある。
		生息環境	淡水の岩の裏など
		侵入経緯	バラスト水に含まれた浮遊幼生で移入
		影響・被害	淡水魚への影響や導水管の閉塞など
		防除方法等 特記事項	3～6日目に当てると死亡する。 特定外来生物